



本学の強みである「生命・環境・エネルギー・食・共生」の各分野を横断した研究を推進

宮崎大学では、人類・社会の持続的発展、また、地域産業・地域経済の発展に寄与するため、「地域共生社会の実現に向けた研究の推進と社会実装」を全学的研究ミッションと位置付け、本学の強み、特色である「生命・環境・エネルギー・食・共生」の重点研究分野を横断させた3つの研究の柱を軸に研究プロジェクトを積極的に推進し、地域を始め多様な分野の課題解決に貢献するとともに、SDGsに掲げられている地球規模の課題解決に繋がる研究により、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

全学的研究ミッション

「地域共生社会の実現に向けた研究の推進と社会実装」



第4期中期目標期間中に特に推進する3つの研究の柱

- 健康寿命日本一に向けた異分野融合研究
- 持続可能な社会を目指した次世代産業の創出
- 多様性を重視した地域社会の基盤構築

3つの研究の柱を軸とした30の研究プロジェクトにより、地域を軸としながらも世界を視野に入れた基盤研究から社会実装までを分野横断的かつ柔軟に推進し、喫緊の課題解決だけでなく確固たる知の集積を着実に実施し、地(知)の拠点としての地位を確立します。

重点研究分野における3つの柱と研究プロジェクト

健康寿命日本一に向けた異分野融合研究

- 生活習慣病及び血管・循環器疾患の予防と治療に関する研究
- がん・難治性疾患の予防と診断・治療に関する研究
- 人獣共通感染症・新興再興感染症制御に向けた基盤研究
- HTLV-1感染症等ウイルス性疾患のメカニズムと治療法開発
- 超高齢化社会における認知症予防等心身機能の維持・回復によるQOLの向上
- 機械知能を利用したQOLの向上と社会への応用
- 遠隔医療の導入と地域医療の高度化
- 精神神経障害の研究と自殺防止
- 体内現象の工学的解釈とその応用
- 食の機能性と安全性評価

持続可能な社会を目指した次世代産業の創出

- カーボンニュートラル達成に貢献する再生可能エネルギー技術とその利用の効率化
- 電気通信技術の基盤を支える技術要素の高度化
- 有機無機新規機能性材料の開発
- 宇宙・惑星・地球で起こる様々な自然現象の理解
- 農林水産物の品種改良及び生育環境の制御による高品質、高収量化
- 中山間地を含む地域の文化・資源を活用した経済基盤の強化
- 地域の生物資源と自然環境を活用した暖地型農林水産業の活性化
- 生態系サービス発揮機構の解明に基づく持続可能な生態系管理手法の開発
- 生物多様性の評価と保全及びその利活用
- 動植物・微生物の生理的機能及び生体機構の解明
- 動物の新規診断・治療法及び防疫方法の開発

多様性を重視した地域社会の基盤構築

- すべての幼児・児童・生徒に対する学びの創造に関する研究
- 多様なリカレント教育・生涯学習のプログラム開発
- 次世代を育む周産期母子から乳幼児までの総合的ケア
- 出生前から終末期までの医療と社会の円滑なコミュニケーションの実践
- 地域全体を対象としたコホート研究と災害医療を含む包括的医療ネットワークの構築
- 地域社会のニーズに対応する柔軟で強靱な医療人育成実践研究
- 地域農業のスマート化による効率化
- 地域社会及び環境と調和したレジリエントな社会の構築
- 多文化共生社会における地域・交流・人材マネジメント研究